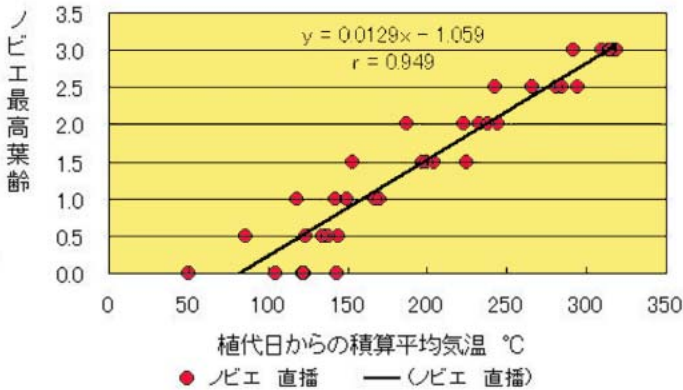


湛水直播栽培における雑草防除技術

水稻湛水直播栽培で、播種後落水管理を想定し効率的な雑草防除技術の確立を目的に、主要雑草であるノビエとイヌホタルイの葉齢モデルを作成し、湛水直播栽培で有効な、一発処理剤による除草体系を策定したので紹介する。

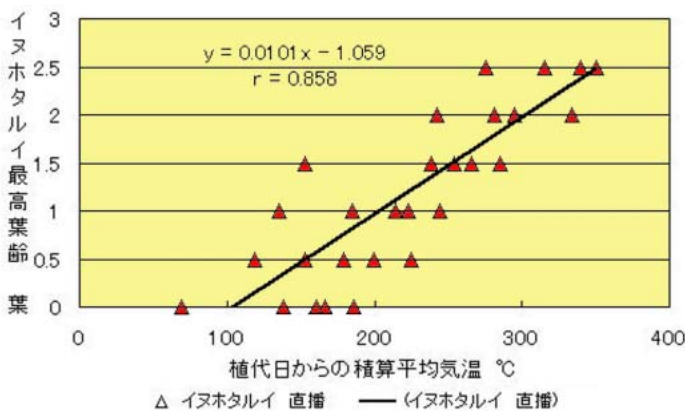
湛水直播におけるノビエの葉齢進展モデル



初・中期一発処理剤で安定した効果が得られる限界（ノビエの最高葉齢2.5葉）は、植代日からの積算平均気温が、おおむね276に達する日である。

この時、イネの葉齢は1.2~1.5葉に達する。

湛水直播におけるイヌホタルイの葉齢進展モデル



初・中期一発処理剤で安定した効果の得られる限界（イヌホタルイの最高葉齢2.0葉）は、植代日からの積算平均気温が、おおむね303に達する日である。

この時、イネの葉齢は1.1~1.6葉に達する。

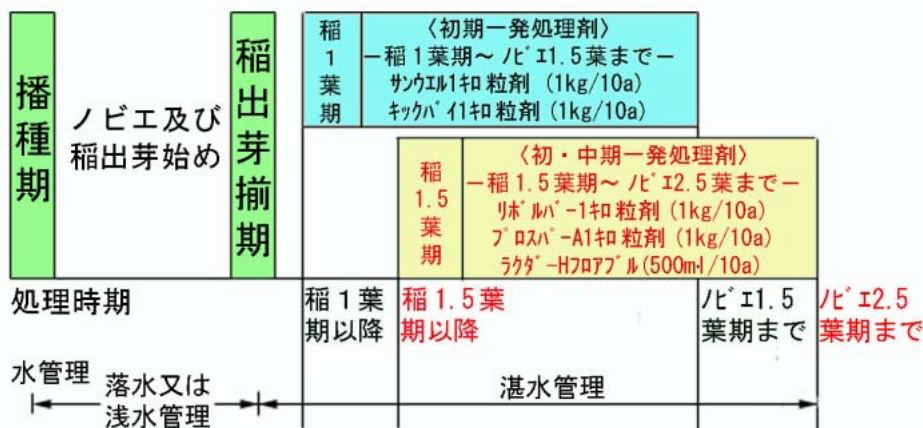
（使用したデータ）

平成7～8年度 岩手農試（滝沢村）

平成10、12～13年度 岩手農研セ（北上市）

データの個数 ノビエ n=35 イヌホタルイ n=30

湛水直播栽培での一発処理剤による除草体系 一発処理剤による除草体系図



左記体系でもノビエが残草した場合

シハ口ホップブチル剤（商品名クソチャ-類）の中期剤を処理する。

処理時期 播種後10-25日
(ノビエ3葉迄)

処理量 1.0kg/10a

または

処理時期 播種後25-30日
(ノビエ3-4葉迄)

処理量 1.5kg/10a